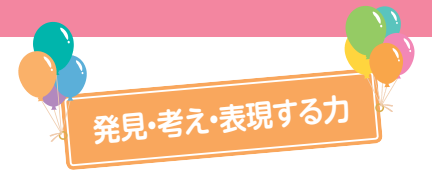





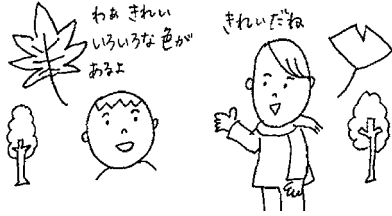
自分の世界を広げるとき  
自分の思いを出せるのは、そのときの



ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある環境（場・物・人等）に自分からかかわり、繰り返し遊びを楽しむようになる。</li> <li>身近な素材を使って遊ぶことを楽しむようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験したことや興味をもったことに、繰り返し取り組める時間や場を保障する。</li> <li>遊びの中で“つもり”を楽しめるように、声を掛けたり、遊びに必要な物を作ったりする。</li> <li>クレヨン、絵の具、粘土など、様々な素材に触れる機会をつくるとともに、ハサミやセロハンテープの使い方、安全な扱い方を知らせる。</li> </ul> 
	自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に親しむようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>草花や木の実、紅葉、雪や氷など、自然物を取り入れた遊びができるよう用具を用意し、自然の不思議さや美しさに共感し、一緒に楽しめるようにする。</li> </ul> 
	言葉・文字や数量など	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や紙芝居の話のおもしろさが分かり、イメージをもって楽しむようになる。</li> <li>動きや言葉で相手に気持ちを伝えようとして、困っていることを表したりするようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や紙芝居などのお話をイメージし、表現遊びやごっこ遊びをする中で、いろいろな表現の方法を知り、楽しさが味わえるようにする。</li> <li>自分の思いや考えを表現している姿を受け止めていく。</li> </ul> 

家庭で大切にしたいこと（保護者のかかわり）	
 <p>やりたい 今日は一緒にカキ氷 しましょ お弁当 できてる？</p>  <p>よく考えたね ママ シカクと作ってね</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢中になって遊ぶ中で「楽しい。」「できた。」という気持ちに共感し、<b>繰り返し取り組んでいる姿を温かく見守りましょう。</b></li> <li>生活の中での様々なこと（掃除・洗濯・食事・買い物など）もごっこ遊びにつながります。家庭でも身近な素材を使って、遊びに使うものを親子で一緒に作りましょう。</li> <li><b>作品は出来栄を評価するのではなく、子どもなりの表現を大切にしましょう。</b>子どもが楽しんだことや工夫しているところを見付け、「〇〇を作ったのね。」「よく考えたね。」など、親子での会話を楽しみましょう。</li> </ul>
 <p>わぁきれいな いろいろな色か あまよ</p> <p>きれいだね</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紅葉や雪、氷等、その時期ならではの自然に触れ、「葉っぱが赤いね。」「冷たいね。」「つるつるしているね。」など、<b>大人も子どもが感じていることに共感したり、一緒に遊んだりしましょう。</b></li> </ul>
 <p>もういやだ ママ</p> <p>いやだ、なんだね どうしていやな 気持ちに なるとか 教えて くれるかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>絵本の読み聞かせは、子どものイメージを豊かにすることや相手の気持ちを考える力を育むことにつながります。継続して機会をつくりましょう。</b></li> <li>子どもが感じていることや思っていることを言葉にできるように、話をじっくりと聞いて受け止めてあげましょう。「いやだ。」の言葉の背景にある気持ちを推察・代弁し「本当は〇〇したい。」などと言葉にしてあげましょう。</li> </ul>